

たけやぶ

2016.4.14
自主学童保育 土のはりクラブ

見せたい! 教えた! あそびたい!!

新1年生を迎えて、あれこれ始まった土のはりの様子をご紹介します!



4/1(月) ヨモギつみ 4/13 ヨモギ団子作り

桜の花が散り始めるともう新しい葉が出てきていますね。土のはりの家の廻りに青々とした草が11月より生えています。みんな外に出て、また考てやわらかいヨモギの葉はつみました。この日、緊急になった新しいケループのメンバーととも、ビニル袋に11月よりなるまで捕らぬ。(指)がゴミとりのために湯でアクリルを洗いました。(1年のときと6年のおとも手洗いで洗った)さて、1年生にとっては初めての手作りおやつの日。ケループごとにたんご粉を1年かボウルにあげ、水を加えて2年と11月分にはねます。3年以上はヨモギを細かく刻み、それをすり鉢に入れて全員ですりました。(土のはりの子は、すり鉢を使える!! ...はずです!)すたヨモギを粉に入れてまぜるとたいたちようどよい団子になります。生地を等分して、各自好きな形に丸めます。3~4年の男の子は、たいてい、とじりの形を作ってニヤニヤしています。好きで可愛い。さすがに5,6年になるとそういうのは敬遠、ねじり、組み合わせたり、凝るのでもかま、ゆでるとふやけてくっつきたりするのでもかま。時間をかけて作ったおたんごを再度、とり分けるときは真剣、年上か仕切るケループ、わーと先に取ろうとする男子のいるケループ、わいっ! サヤガ中。先走って取りました人は、みんなの非難の目を感じて、「あ、コレ戻すね。女子、取っていいよ...」注意なくても自ら感じるココロがある良かった。口出しなくて良かった。取り分けたら、冷凍してあった手作りきな粉をかけた「いただきます」み、超、おいしい。今回初めて「たんご粉」ではなく「もち粉」という粉を使ってみました。ゆでればさらしてもお利国にならないうも4月4日おいしかったです。お家でも試してみてくださいね。このように、土のはりでは主に水曜日、月に1~2回のペースで、これも自身が調理する「手作りおやつ」の日があります。次回は20日(水)フルーツポンチです。

4/6(水) けん玉始め

土のはりでは、1年を通してけん玉をやっています。12月には大会にも全員で参加します。この日は1年生にけん玉の技を見せる日。自分かてきょうな技のところに参加して、1年のみんなの目の前でけん玉をやりました。大皿、小皿、3つぞく、飛行機... 大台、地球回しなど次々と決めるお兄さんお姉さんに、1年生はビックリ。まよんと見えています。でもこれは1年生、おもしろい時間。見るだけはおまじやうからそろそろ終わり... 待て!! おねがひだから「おねがひ」やらせて!! と、6年生。「見える」よりも「おねがひ」を求めたい!! 気持ちの方が強くなるほど。けん玉のおもしろさは深いのでおねえ。このあと、1年生は男の子は青い玉、女の子は赤い玉のピカピカのけん玉をもらい、うれしうでした。お兄さんお姉さんたちから手取り足取り(?)で、持ち方や大皿などのやり方を教えて、4ヶレシ。慎重にじょうやる人、うれし取っかしてポンポン跳しちゃう人、あという間に大皿でできるようになっちゃう人。いろいろでした。けん玉は、各自お家から小さい巾着袋を(おねえ)持ってきてもらって、それに入れてから学年ごとにまとめて土のはりの家まで保管しておきます。お苦でもなくともよいので袋かまたの方は持たせて下さい。



4/7(木) 新入生を迎える会 (こども版)



「土のはりクラブの1年間」を四季に分けて、パネルシアターを使って紹介する、新3年生リーダーの初仕事。各自のセリフを暗記して唄や踊りも練習してきたものを、1年生を最前列に座らせて、2年以上も全員集まった前で発表しました。

今年の3年生は9人いて、とても元気。歌も(乗っか)とても大きな声で唄って出して上手です。4~6ヶレも長く、今年1年、かんばってこれいな期待の3年生たち。本番、17日(日)にはより広い場所で、保護者の方の前でもやります。緊張すると思うけれど、せむかんばって欲しいです。一番疲れる踊りの時には、上級生のかけ声も重要。新5・6年かまよと11月分には応援してくるはず。楽しみにして下さい。

<担当>
春... けん せん 夏... せん けん
秋... けん せん 冬... けん けん けん

今! ケループで流行っているあそび

缶けり、ドボン、おままごと、鬼ごっこ、ウサギつみ、等々の他に一部の人からはあそびのかわ/セル取り。「野薺」は根の白い球の部分をよくあそびそのまみりつけてかき混ぜています。「お父さんにあげるから」と手に11月より取ってくる人も。ケループに生えていれると上に見つける1年生に感じます。

